

 西岡化建株式会社

2023年度

環境経営レポート

対象期間：2022年9月21日～2023年9月20日

発行：2023年10月25日



Environmental Management Report 2023

contents

西岡化建のあゆみ	P3	グリーン購入・作業環境の改善	P24
トップメッセージ	P4	健康と環境保全	P25
環境経営方針・経営理念	P6	緊急事態への準備及び対応	P26
組織の概要と認証・登録の対象組織・活動	P7	社会貢献	P27
環境経営システム	P8	環境関連法規等の遵守状況確認および評価ならびに違反、訴訟等の有無	P27
主な環境負荷の実績 環境目標・実績	P9	生物多様性の保全活動	
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画		NISHIOKA FARM 無農薬有機栽培野菜	P28
電力による二酸化炭素排出量の削減	P10	緑化活動 花の育成と植樹祭の参加	P29
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	P12	環境経営活動の総括	P30
廃棄物排出量の削減	P13	代表者による全体の評価と見直し・指示	P31
水道水使用量の削減	P16		
PRTR 物質使用量の削減	P17		
環境に配慮した工事の推進	P18		

当社におけるSDG s の関連項目



P27



P27



P12.P17.P20.P24-P27



P15.P26.P29



P26



P16



P10-P12.P24



P11.P24



P11.P26



P26



P11-P14.P19.P20.P22.P26.P29



P13-P20.P22.P24



P11.P12.P24.P26.P29



P25



P29



P27



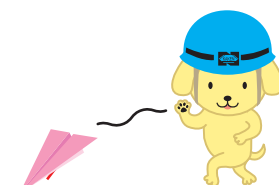
P20.P27

西岡化建のあゆみ

エコアクション21を認証・登録してから **12年** 経過しました！



- 1975年 10月 茨木市に西岡化建工業所 創業
- 1978年 10月 法人組織に改め、資本金 200 万円にて会社設立
商号を西岡化建株式会社に変更
- 1982年 3月 摂津営業所及び資材倉庫設置
- 1992年 3月 資本金 1,000 万円に増資
- 2002年 3月 摂津営業所及び資材倉庫を茨木本社近隣に
移転し、茨木事業所とする
- 2007年 1月 新社屋完成
- 2011年 12月 **環境経営システム エコアクション21 認証取得**
- 2015年 3月 2号倉庫完成
- 2016年 2月 第19回 環境コミュニケーション大賞
環境活動レポート部門 優良賞受賞
- 2016年 3月 資本金 2,000 万円に増資
- 2017年 2月 第20回 環境コミュニケーション大賞
環境活動レポート部門 優良賞受賞
- 2018年 2月 中小企業家同友会全国協議会 2017 年度 同友エコ大賞受賞
- 2018年 3月 なにわエコ会議主催 CO2 削減コンペ 創意工夫賞受賞
- 2019年 2月 第22回 環境コミュニケーション大賞
環境経営レポート部門 優良賞受賞
- 2019年 2月 中小企業家同友会全国協議会 2018 年度 同友エコ奨励賞受賞
- 2020年 2月 新社屋完成
- 2020年 8月 代表取締役会長に西岡勝男 就任
代表取締役社長に西岡若菜 就任
- 2021年 2月 第24回 環境コミュニケーション大賞
環境経営レポート部門 大賞（環境大臣賞）受賞
- 2021年 3月 なにわエコ会議 2020 年度 CO2 削減・プラスチックごみ削減
コンペ 優良賞受賞
- 2021年 6月 中小企業家同友会全国協議会
2020 年度同友エコ大賞（会長賞）受賞
- 2022年 1月 エコアクション21 オブザイヤー 2021 銀賞受賞
- 2022年 3月 なにわエコ会議 2021 年度 CO2 削減・プラスチックごみ削減
コンペ 優秀賞受賞
- 2022年 7月 中小企業家同友会全国協議会 2021 年度 同友エコ奨励賞受賞
- 2023年 3月 なにわエコ会議 2022 年度 CO2 削減・プラスチックごみ削減
コンペ プラスチックごみ削減努力賞受賞
- 2023年 3月 エコアクション21 オブザイヤー 2022 銅賞受賞
- 2023年 8月 中小企業家同友会全国協議会 2022 年度 同友エコ奨励賞受賞



2020年度
環境経営レポート

環境コミュニケーション
大賞
大賞（環境大臣賞）
受賞



2021年度
環境経営レポート

エコアクション21
オブザイヤー
銀賞 受賞



2022年度
環境経営レポート

エコアクション21
オブザイヤー
銅賞 受賞

環境対応で企業基盤を強化していき、 仕事で持続可能な社会へと貢献したい。

2023 年 10 月 25 日
西岡化建株式会社
代表取締役会長 西岡勝男



弊社が環境認証エコアクション21の活動を始めたのは2009年からでした。所属団体の環境部会に属し、取得のためのスクールで社員と共に勉強させていただきました。2011年に認証取得をし、それからは毎年深化していく活動となるよう、環境事務局を任命した社員から弊社の努力状況を聞き、他にどんなことが対象となっているのかを見つめ、出来ることはプラスしてきました。エコアクション21に絡めてSDGs17の目標を掲げることに注力し、社内にもいたるところに努力目標を啓発してくれています。

弊社の創業は1975年10月です。第一次オイルショックの後、経済が疲弊した中で起業し、必死で世の中のニーズとなる仕事に取り組んできました。防水工事や塗装工事は建物を風雨による漏水・浸食から守ります。建築物の長命化を図ることに徹し、改修時期の長期化にも取り組んでいます。現在の代表的な防水工事に大型店舗の屋上駐車場におけるウレタンFRP複合防水工事です。環境対応材料の仕様や次期改修時期の長期化により資源の節約をし、CO2排出量削減に努めます。

昨年から取り組んでおります環境対応工事は、バイオマス発電所の新設にご用命いただいた防食工事です。これまでの下水処理施設の老朽化に伴う改修工事で、コンクリート下水槽に変え、大型ドーム鋼板製の消化タンクへと更新しています。汚水からメタンガスを発生させバイオマス発電の燃料にいたします。水分は海へと流せるレベルに精製し残りカスは優秀な有機肥料になり、一石三鳥を実現する工事です。メタンガスとともに発生する硫化水素による蝕みを防ぐため、弊社は鋼板の表面をフレクライニング工法で防食工事を施します。全国都道府県でこの工事が広がっていくことを期待しております。

ウクライナを始め、イスラエルガザ地区など、世界で起こる戦争はCO2排出削減の努力もむなしく環境にも人々の暮らしにも悲惨な悪の影響を与えるもので、毎日のニュースに胸を痛めております。これからも純粋に地球環境保護を願い、活動を続けていきます。

持続可能な社会の構築に 貢献する技術を磨き続けます。

2023 年 10 月 25 日

西岡化建株式会社

代表取締役社長 西岡 若菜



私達は建築改修工事を通じて、持続可能な社会の構築を目指してきました。主な事業内容である防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事、躯体補修工事などは、いずれも建築物を水や腐食、自然環境や生産活動による劣化・損傷から守る工事であります。定期的な修繕をすることで建築物や社会インフラの長寿命化、ライフサイクルコストの低減が可能となります。これまでも改修工事を通じて、SDGsの目標「住み続けられるまちづくりを」「産業と技術革新の基盤をつくろう」を実現することを目指してまいりました。中でも昨年度から積極的に取り組んでいる、バイオガспラントにおけるメタン発酵槽の内面防食工事や、半導体製造工場や各種化学工場における重防食工事は、当社が長年培ってきた施工技術と新しい技術が生かされ、これらの目標達成やエネルギーシフト、環境保全に大きく貢献してきたと自負しております。

今後の課題は、創業時より50年近くにわたって培ってきた施工技術を、次の世代に承継することです。建設業においても労働人口が減少し、技術者の高齢化、若年労働者の減少が問題となっています。技術者の高齢化や人手不足は当社においても他人事ではなく、長年積み上げてきた施工技術を次の若い世代に承継することが喫緊の課題であります。エイジフレンドリー、ジェンダー平等、人種差別の撤廃など、人権尊重の労働環境をつくるのが、SDGsを達成しながら当社の課題を解決することにもつながります。人手不足が今後解消されることは無い中で、機械化や技術革新による労働生産性の向上も大きな課題となります。そして、機械化や技術革新による生産性向上は、エネルギーの削減、環境負荷の低減にもつながり労働環境改善が環境保全にもつながっていくのです。

これからも社員と共に、技術研鑽を怠らず、誰に対しても安全で平等な労働環境づくりのために一層努力いたします。今後とも環境経営に真摯に取り組んでまいります。

環境経営方針・経営理念

環境経営理念

西岡化建株式会社は、本業である建設工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に全社員とともに自主的・積極的に継続的改善に取り組めます。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力・燃料による二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
3. 廃棄物の削減とリサイクルと適正処理を推進します。
4. 節水行動や作業改善で水使用量を削減します。
5. 水性材料の使用により、溶剤の使用量および揮発量の低減に努めます。
6. 特定化学物質を含有しない防水材の使用により、環境負荷低減への取り組みをします。
7. グリーン購入やグリーン調達に努力します。
8. 地域の環境活動（資源ごみ回収）に積極的に参加します。
9. 省エネ、エコに繋がる工法を提案し、活動に取り組めます。
10. 気候変動への適応策として、地域社会の強靱化に貢献します。
11. この環境方針を全従業員に周知し、教育啓発活動を実践していきます。

改定日：2019年10月25日

制定日：2010年10月25日

代表取締役会長 西岡 勝男

代表取締役社長 西岡 若菜

経営理念

一、技術の研鑽

私達は、研究開発精神にのっとり、優れた技術を提供し常にお客様の「ニーズ」に応える工事を遂行します。

一、環境の改善

私達は、製造現場における環境改善と、生活環境の向上を提言し、社会から信頼される企業を目指します。

一、より良い工事と共育ち

より良い工事をモットーに、西岡化建は共に働き、共に育ち、社会に貢献する事を目指します。

組織の概要と認証・登録の対象組織・活動

組織の概要

- 事業者名** 西岡化建株式会社
代表名 代表取締役会長 西岡 勝男
代表取締役社長 西岡 若菜
- 所在地** 本社・資材倉庫 大阪府茨木市郡 5 丁目 21 番 16 号
- 環境管理責任者** 専務取締役 西岡 洋子
環境事務局 営業部 小山 さら 前田 祐里
連絡先 TEL 072-643-1125 FAX 072-643-1127
E-mail info@nishiokekakaken.com
URL http://www.nishiokekakaken.com
- 事業内容** 防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事、左官工事、屋根工事
建設業許可番号：大阪府知事許可（般-3）第 51113 号
許可業種：建築工事業・防水工事業・塗装工事業・内装仕上工事業
左官工事業・屋根工事業
- 資本金** 2,000 万円
売上高 2 億 4,000 万円
(45 期 2023 年 9 月実績)
主要工事完成高 268 件
- 事業年度** 9 月 21 日～翌年 9 月 20 日



	本社	資材倉庫	合計
従業員数	31 人		31 人
延床面積	467㎡	132㎡	599㎡

男性 24 名 女性 7 名 ※2023 年 9 月 20 日時点

認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名** 西岡化建株式会社
本社・資材倉庫

● 弊社の環境活動



環境に配慮した工事
(HACCAP 対応)



環境に配慮した工事
(TX フリー)



屋根に太陽光パネル
(82 枚分) の設置

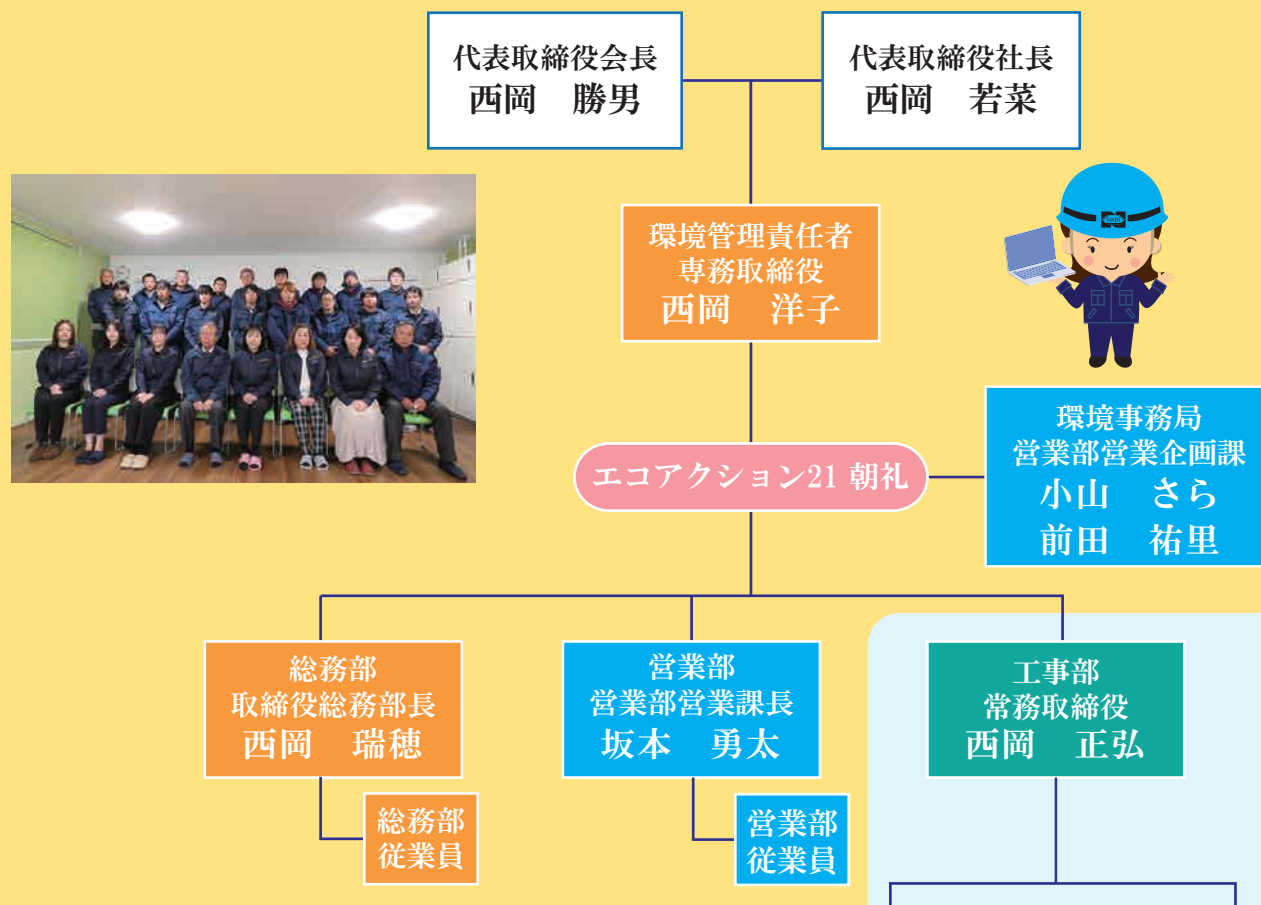
その他にも、建設現場から持ち帰る
産業廃棄物の徹底した分別など
さまざまなことを行っています！



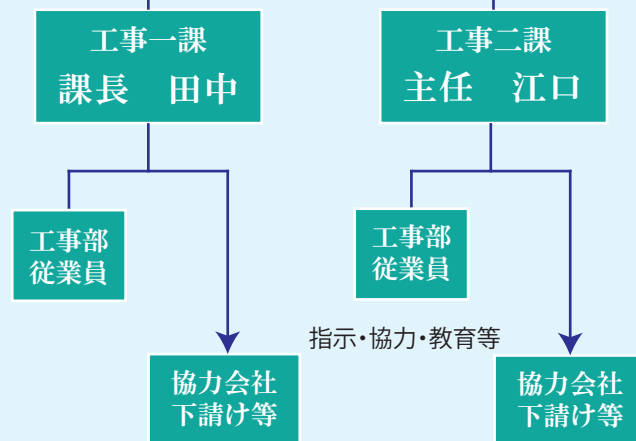
環境経営システム

本社・資材倉庫

更新日:2020年9月21日



建設現場



	役割・責任・権限
【代表者】 代表取締役会長 西岡 勝男 代表取締役社長 西岡 若菜	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し - 環境経営目標・環境経営計画を承認 - 代表者による全体の評価と見直し、指示 - 環境経営レポートの承認
【環境管理責任者】 専務取締役 西岡 洋子	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
【環境事務局】 営業部営業企画課 小山 さら 前田 祐里	- 環境管理責任者の補佐、EA21朝礼の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標・環境経営計画原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）

	役割・責任・権限
エコアクション21 朝礼	- 環境経営計画の審議 - 環境活動実績の確認・評価 - 朝礼で目標項目の1項目ずつの評価と指示をする。 - 評価は担当者がする。指示は管理責任者が行う。 - 記録は活動計画書の3か月ごとにチェック。
【部門長】 総務部 西岡瑞穂 営業部 坂本 勇太 工事部 西岡 正弘	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 自部門の想定される自己及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績 環境目標・実績

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	74,174	80,252	68,841
廃棄物排出量	t	67.30	106.94	58.03
一般廃棄物排出量	t	0.65	0.50	0.45
産業廃棄物排出量	t	66.65	106.44	57.58
水道水使用量	m³	140	129	134
化学物質 (PRTR物質)	kg	2,995	3,448	1,102

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.311kg-CO2/kWh
二酸化炭素総排出量はLPGを含む。
産業廃棄物は混合以外も含む。

環境目標・実績 (当初目標)

項目		年度	基準値	2023年			2024年	2025年
			(基準年)	(目標)	(実績)	達成状況	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量 (CO2換算係数0.311kg-CO2/kWh)	p10	kg-CO2	5,551	5,495	5,315	○	5,440	5,384
		基準年比	2022年	99%	96%		98%	97%
電力売上 (万円) 原単位評価		kg-CO2 /万円	0.160	0.159	0.230	×	0.157	0.155
太陽光発電による売電量 (参考)		kg-CO2	6,913	6,982	6,809	×	7,051	7,120
		基準年比	2022年	101%	98%		102%	103%
自動車燃料の二酸化炭素排出量	p12	kg-CO2	74,701	73,954	63,526	○	73,207	72,460
		基準年比	2022年	99%	85%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	80,252	79,449	68,841	○	78,647	77,844
一般廃棄物	p13	kg	504	479	447	○	474	469
		基準年比	2022年	95%	89%		94%	93%
混合廃棄物	p13	t	106	105	58	○	104	103
		基準年比	2022年	99%	57%		98%	97%
水道水	p16	m³	129	123	134	×	123	121
		基準年比	2022年	95%	104%		95%	94%
水道水 床面積原単位評価 (延床面積599m²)		m³/m²	0.22	0.20	0.22	×	0.39	0.38
PRTR物質使用量	p17	kg	3,448	3,414	1,102	○	3,414	3,379
		基準年比	2022年	99%	32%		99%	98%
工事施工上の環境配慮 環境対応型防水材「ワンガード・ゼロ」使用量	p18	kg	33,696	34,033	9,504	×	37,066	38,750
		基準年比	2022年	101%	28%		110%	115%

※LPG、灯油、廃油は少量のため数値目標を設定しませんが常に省エネに取り組んでいます。
グリーン購入の推進も目標にしています。

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画

電力による二酸化炭素排出量の削減



太陽光発電と平衡して消費電力量削減

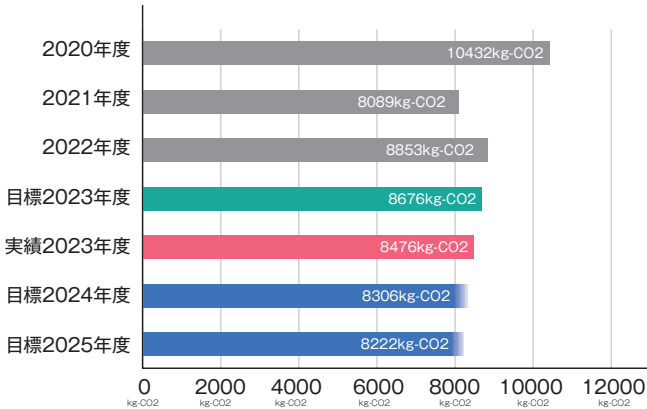
今年度は昨年度に比べ少しCO2排出量を削減することができました。今年はパソコンを付けたまま帰る社員が減ったことと新入社員もいなかったため研修を行わなかったことが削減できた理由だと考えています。

次年度からは

来年度も太陽光発電に頼りすぎず、待機電力やこまめな不要照明の消灯など再度周知していきたいと思います。

今年は少しは使用電力量を削減できたため来年度もこれ以上に削減できるように頑張りたいと思います。また、照明の消灯など再度周知させていきたいと思います。駐車場付近の花壇への植栽も引き続き取り組んで参ります。

●消費電力の推移(CO2排出係数 0.311)



数値目標：○達成 ×未達成
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

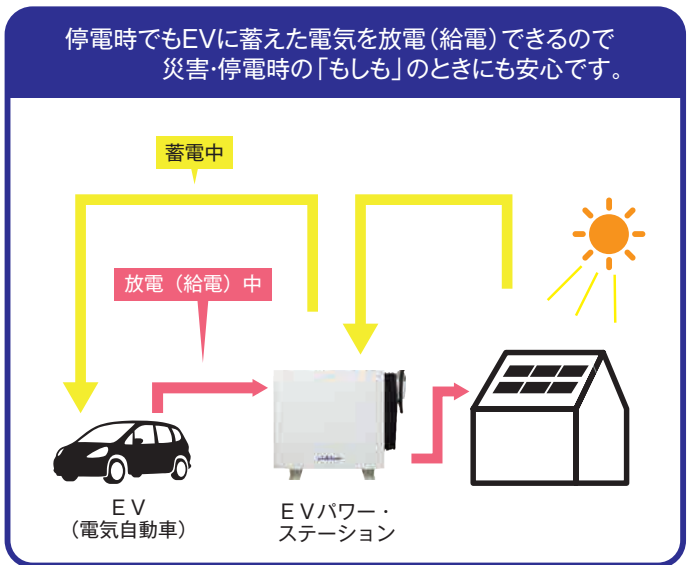
数 値 目 標 と 実 績	達成状況
2022年実績5,551kg-CO2⇒2023年実績5,315kg-CO2 目標99%⇒基準年度比96%	
取 組 計 画	達成状況
・空調温度の適正化（冷房28℃、暖房20℃）（事務所）	○
・不要照明の消灯（事務所）	×
・駐車場の植栽（事務所）	◎

わが社のカーボンニュートラルに向けての取り組み

CO2排出ゼロ+BCPを取り入れた電気自動車

日産リーフは走行中のCO2排出ゼロ、ガソリンを全く使わないクリーンな電気自動車です。ガソリン車が排出する排気ガスには、地球温暖化の原因とされている二酸化炭素、光化学スモッグの原因とされている炭化水素や窒素化合物など、さまざまな大気汚染物質が含まれますが、電気自動車は走行中に排気ガスが出ないため空気を汚すことがなく、環境を守ることができます。

太陽光で発電した電気がEVパワー・ステーションを経由してリーフに蓄電しています。太陽光という再生可能エネルギーを使用し電気自動車を充電しているため地球環境に優しいエコな自動車となっています。自動車自体に蓄電することが可能のため停電時でも建物に電気を給電できます。昼間の太陽光で十分に蓄電を行っているため約3日間社内の電気をまかなうことができます。



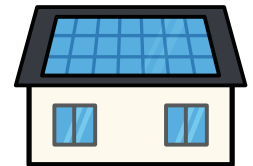
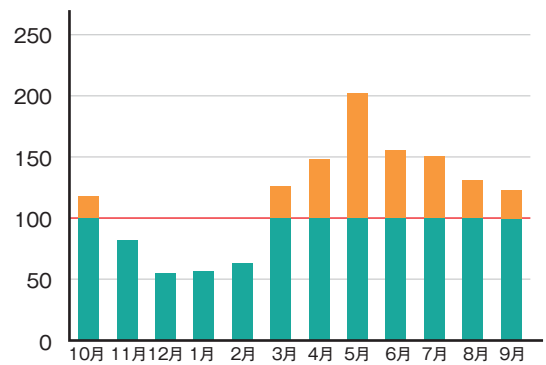
わが社の太陽光発電

社屋の屋根に太陽光パネルが設置してあります。太陽光パネルは枯渇することのない太陽光からエネルギーを取り出すため、限りある資源である化石燃料を使うよりも大きく地球に優しいと言えます。太陽光パネルを設置しているだけで地球環境問題に大きく貢献することができます。これから使用電力をより減らし、全ての月で太陽光発電自給率が100%を超えることを目指します。

太陽光発電の自給率のグラフです。やはり、日照時間が短く暖房を多く使う冬は自給率が下がってしまいました。しかし、春から秋にかけては自給率は100%を超えています。2050年**カーボンニュートラル**の実現へ向けて力を入れて参ります！

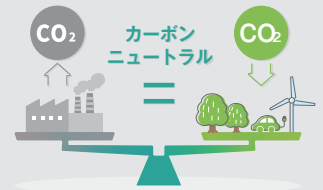


● 2023年太陽光発電自給率(%)

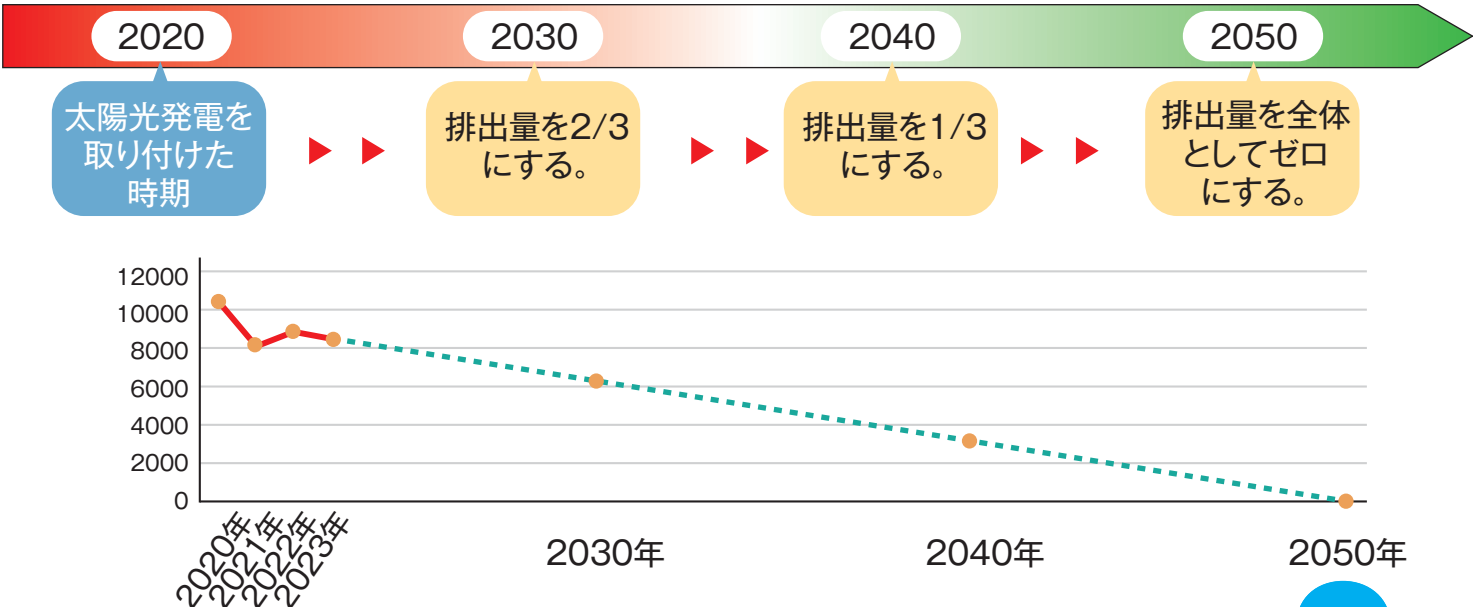


カーボンニュートラルとは？

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。弊社でできるカーボンニュートラルは電力の消費量を減らし、できるだけ太陽光で発電した電気でもかなう事です。また、ガソリン車ではなく電気自動車を使用することもカーボンニュートラルに貢献できると考えています。



― 自社のカーボンニュートラル実現に向けての目標 ―



弊社でも2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするという目標を掲げました。太陽光発電を取り付けた2020年を基準とし、2050年までに目標達成できるように周知させていきたいと考えております。まずは2030年の2/3にするという目標を達成できるように頑張ります。



自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減



自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

今年は昨年度より自動車燃料の使用量を減少させることができました。昨年度より工事件数が少なかったことも原因だと考えられます。軽油の使用量が昨年よりも大幅に減少していることから、遠方の工事が減少していることが分かります。ガソリンの使用量はあまり変化がないことから、現地調査等での営業車の使用は昨年と変わりなかったことが分かります。

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 目 標 と 実 績	達成状況
2022年実績74,653kg-CO2 ⇒2023年実績63,472kg-CO2 目標99%⇒基準年度比85%	
取 組 計 画	達成状況
・ 効率的なルートでの移動（現場）	○
・ 材料、運搬の最小化（現場）	△
・ 車両の不備点検（現場）	◎
・ 車の導入時に低燃費車を選択	◎

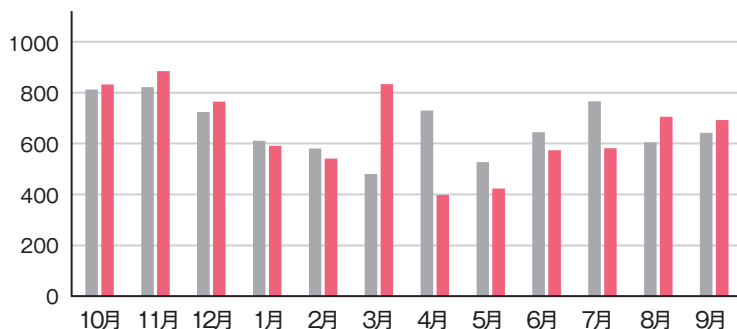
次年度からは

車両の不備が無いが毎月確認を行い、事故の無いように心がけていきます。できるだけ1台に乗れる人数が乗り最小限の台数で移動し、エコドライブを心がけた運転を継続させていきます。材料等の忘れ物が多かったように思うので再度忘れ物がないか確認し、無駄な移動がないように注意していきたいと思います。（工事部 田中）

こちらは昨年購入したユニック車です。このように大型の機械を工事現場まで運ぶ際に役にたっています。ユニック車の操作には資格が必要になります。大型の機械の運搬には危険が伴うため細心の注意を払わなくてはなりません。これからも事故の無いように気を付けて参ります。

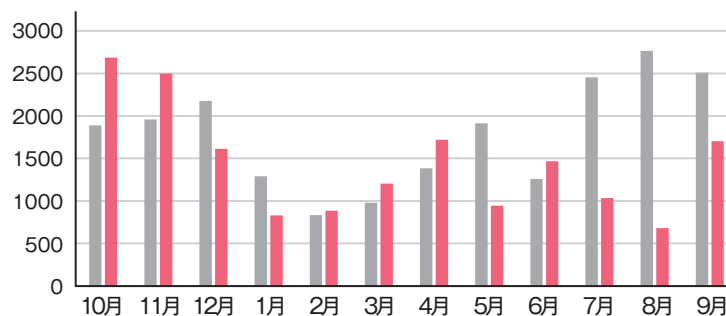
● ガソリン(ℓ)

■ : 2022年(基準年度) 合計:7946ℓ ■ : 2023年 合計:7821ℓ



● 軽油(ℓ)

■ : 2022年(基準年度) 合計:21414ℓ ■ : 2023年 合計:17263ℓ



車両点検リストの作成

自動車は日々私たちの命を運びます。長距離移動が多いこともあり、毎日の点検は欠かせません。さらに月末には各車担当者に点検リストを配布し、チェックしてもらいます。毎月走行距離の記録と不備や違和感があれば必ず記録して事務所に報告し、対処するようにしています。

万が一の際に、事故や緊急時対応方法なども周知させ、いざというときに備えるよう努めております。今年は車ごとの担当者も新たに見直し、車内の5Sも保たれるよう取り組んでおります。



さん 〇/〇(天) に提出をお願いします！

● 車 両 点 検 リ ス ト ●

車両ナンバー	-	年 月 日
8/31の走行距離	km	毎月 1日 記入する
点 検 項 目		日付
エンジンルームをのぞいての点検	1 ウインドウォッシャー液の量	
	2 ブレーキ油の量	
	3 バッテリー液の量 または 電圧	
	4 エンジンオイル漏れの交換日 (2000km走行時で交換)	
クルマのまわりを回っての点検	5 タイヤの空気圧	
	6 タイヤの磨耗、損傷および異常な発熱	
	7 タイヤの溝の深さ	
運転席に座っての点検	8 ランプ類の点検、点滅およびレンズの汚れ、損傷	
	9 ブレーキペダルの踏みしろおよびブレーキの動き	
	10 パーキングブレーキレバーの引きしろ	
	11 ウインドウォッシャーの噴射状態	
5S活動中	12 ワイパーの拭き取りの状態	
	13 エンジンのかかり具合および異音	
	14 エンジンの始動および始動後の状態	
	15 室内は清潔に保たれているか	
担当者サイン	16 外装は汚れていないか	
	事務所確認サイン	

点検の結果に詳しく、明るくきはガソリンスタンドでも行えるので月1回は見てもらいましょう。

廃棄物排出量の削減

一般廃棄物の削減

数値目標：○達成 ×未達成
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 目 標 と 実 績	達成状況
2022年実績504kg⇒2023年実績447kg 目標99%⇒基準年度比89%	
取 組 計 画	
・ 分別の徹底(事務所・現場)	○
・ シュレッダー廃紙のリサイクル化(事務所・現場)	○
・ 帳票見直しによる印刷物の削減(事務所)	○
・ 梱包材の再利用(事務所・現場)	○

一般廃棄物の量が大きく減少させることができました。2021 年度から考えると毎年大幅に減少しているので大きな進歩だと考えています。

引き続きペットボトルなどの資源ゴミの分別を正しく行うことを徹底させたいと思います。また、いらないものを買わない努力やゴミの出にくいものを選択するなど努力していきたいです。

(営業部 小山)

混合廃棄物の削減

数値目標：○達成 ×未達成
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 目 標 と 実 績	達成状況
2022年実績101t ⇒2023年実績58t 目標99%⇒基準年度比57%	
取 組 計 画	
・ 作業ミスによる廃棄物の削減(現場)	○
・ 分別状態の確認(事務所・現場)	◎
・ ゴミの圧縮(事務所・現場)	○

昨年に比べ大幅に削減することができました。昨年より多くの廃棄物が出る防水工事の件数が減ったことが要因だと考えています。

今年も無料広告掲示板で必要とする方に「木製パレット」をお譲りしました。その分の廃棄物も削減することができました。

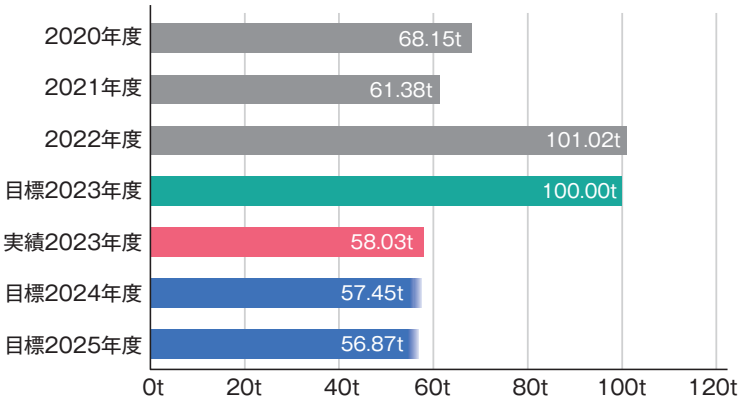


機密文書はヤマト運輸の専用のリサイクル BOX で完全溶解処理したものを 100% 再生リサイクルしてもらえます。

現場から持ち帰った既存防水層などの廃棄物は分別した後、残りは廃プラスチックとして処理します。



● 廃棄物の推移(一般廃棄物+混合廃棄物)



私たちが分別のために 継続しているコト

- ・ つぶせる缶は必ずつぶしてメッシュパレットへ
- ・ つぶせない缶にはテープ類や軍手などゴミを入れないようにしよう
- ・ 廃缶の中に廃缶を入れている場合、帰社後に取り出してメッシュパレットに入れて分別しよう
- ・ コンテナ（バックカン）は隙間の無いように詰めて入れよう
- ・ 未硬化の樹脂は固めてから処分するか、廃液用のドラム缶へ
- ・ 軍手は持ち帰った後必ず専用の箱に全て入れよう（事務所で選別して洗濯再利用します）

次年度からは

混合廃棄物は工事数に比例するので来年がどうなるのか読めません。引き続き分別の徹底を継続し、混合廃棄物に入れるべきものなのか判断していきたいと思います。また、廃パレットなど再利用できるものは譲渡を行い、リユースに繋がるよう努めます。ゴミは潰し、可能な限りのゴミの縮小を心がけたいと思います。

(工事部 江口)

産業廃棄物の分別方法



金属類（鉄くず・アルミ）



メッシュパレットに入れて分別。

材料一斗缶



空缶か確認したうえでコンパクトに折り畳む。

リサイクルできない産業廃棄物



（既存防水層・砂・くず類等）

古紙・ダンボール



紐でしばって倉庫保管へ。

木製パレット



材料納品の際、荷役台として使用。1か所にまとめておく。



金属類の廃材を有価物に

工事によって発生した金属系の撤去廃材については事務所に持ち帰った後、分別を行います。分別した金属は産業廃棄物ではなく有価物として売却を行っております。今期は1年間に18,720円の売却益が発生しました。また、売却は不可であっても資源として引取りを行って貰える廃缶についても分別しています。金属売却益は、会社で行う行事の際に全額を社員に還元することが決定しており、社員の分別に対する意識、モチベーションの向上につながっております。



中古の木製パレットを必要とする方へ



材料はパレットに載せられた状態でフォークリフトで納品されます

材料が納品される際に置いて行かれるパレットですが材料発注のたびに事務所に積み上げられ、どんどん溜まるので置き場と処分方法に悩んでいました。中には定期的に回収に来てくださる運送業者さまもありますが、毎度はなかなか持ち帰ってもらえません。

そこで地域のWEB掲示板に「木製廃パレットお譲りします」と募集をかけたところ、必要とくださる方たちが何人も見つかりました。物流や運送に必要とされる業者さんだけでなく、個人で「DIYで使いたい」「キャンプで使いたい」など使用の目的も多岐に渡ります。これまで廃棄していた木製廃パレットが再利用してもらえて3Rに繋がりました。今後もこのような地域との繋がりを大切にしながら廃棄物の削減に努めてまいります。



パレット溜ってきたなあ…



必要としている人がいるかも？
欲しい人いませんか？

木製パレット
お譲りします

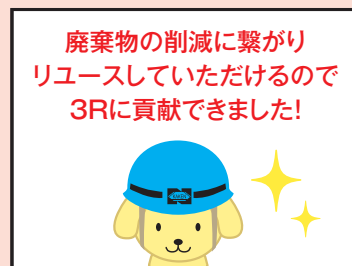
募集！



「DIYで棚を作りたいです」

「キャンプで使います！」

「物流・運送に使用します！」



廃棄物の削減に繋がり
リユースしていただけるので
3Rに貢献できました！



パレットを必要とされる方がおられましたら
是非お気軽にお問い合わせください！

※引き取りに来られる方に限ります。

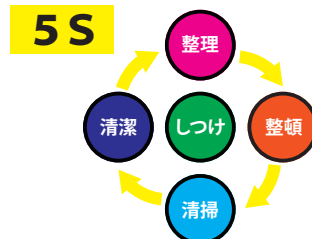
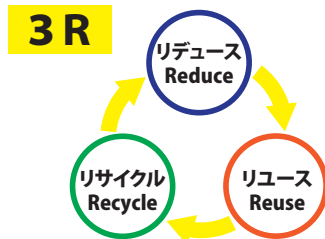
劣化具合についてはあらかじめご了承ください。



パレット引き取っていただきました

3Rと5S活動

3R と 5S 活動



現場や事務所で発生するものは左図のように細かく分別を行います。現場で使用する資材や消耗品はリユースを心がけ、物を大切に使う・必要以上に買わないリデュースも引き続き行っています。現場で飲んだりリサイクル可能なペットボトルや缶などについても事務所に持ち帰り、茨木市の規定に沿って分別をしています。

また、5S活動は製造業だけでなく建設業でも必要不可欠な取り組みです。5Sが定着せず作業導線モノが散乱していると災害発生リスクが高まります。床がチリやホコリがある状態での施工は品質にも大きく影響があるので現場での清掃は欠かせません。現場でも整理・整頓・清潔の習慣化と5S活動を徹底して、きれいな現場を維持しながら安全で働きやすい現場になるよう整備しています。

事務所と近隣

- ・全社員で毎週金曜日は清掃実施。
- ・役職等に関係なくトイレ掃除は当番制。
- ・古紙・ダンボールなど紐で結んでごみ庫に整理。
- ・ペットボトルなどの資源ごみも全員で分別する。
- ・社内共有フォルダのデータ整理。

工事現場・倉庫

- ・工具や材料は整理整頓を徹底。
- ・倉庫や置き場の通路は空ける。
- ・工事現場は清潔を保ち、品質の向上。

業務効率が上がれば
ムダが減らせます



通路にははみ出し厳禁！



整理 整頓 工具置場の片付け



清掃 5Sで施工の品質と安全性が向上します

軍手とウエスの洗濯再利用

現場で使用する軍手やウエスは会社に持ち帰って分別しています。一度付着した樹脂は基本的には洗い取ることが不可能なので、これまで使った軍手は一度でほとんどが廃棄処分でしたが、1つずつ状態をチェックして使えるものと廃棄するものとで分別しています。



洗濯は当番制でまわしています



輪ゴムで留めて現場に持ち出しやすいように置いています

再利用するためには洗濯が必要なのでひと手間かかりますが、これまで廃棄していた軍手・ウエスの半分以上のは再利用できるようになりました。洗濯は事務所のメンバーで毎日当番制でまわしています。次に使う工事部チームのためにも気持ちよく使用してもらえるよう心がけています。これらの取組みは社内の意識改善と消耗品のムダ使い削減に繋げることが出来ました。また、会社で古くなってきたタオルもウエスとして活用し、事務所内の作業や清掃や花の手入れ、野菜の収穫時にも使用しています。



古紙回収で地域子ども会への活動協力

古紙、ダンボールは分別を行い、毎月地域の子ども会に協力しています。

今年はコロナの規制も緩和され、4年ぶりの地域の小学校が開催する「ふるさと祭り」が開催されました。会社の業務以外にも、毎年協賛寄付や会社の周りの雑草手入れや荒れた竹藪を整備するボランティアも行っております。今後も少しでも近隣住民の方々のためになるよう、地域で行なっている資源ごみの回収や清掃活動などには積極的に参加していきます。



水道水使用量の削減



洗濯回数が増えたことにより増加

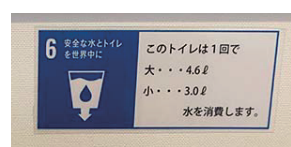
水道水の使用量が前期より、5 m³増加してしまいました。これは軍手やウエスなどを干している角ハンガーが経年劣化で壊れていき、一度に干せる量が少なくなったのが原因かと思われます。しかし、新社屋の水道水使用量は昨年より少し減っていたため、こちらは節水トイレ「大」と「小」を使い分けて使用していたことが達成することができた理由の一つだと考えられます。

また、廃棄物削減のために事務所の飲み物は紙コップを廃止して、繰り返し洗って使えるコップを使用しています。現場で使用する軍手なども樹脂が少量であれば繰り返し洗濯して再利用しているので今後も消耗品のコストカットに繋げていければと思います。

新社屋水道水使用量
53m³→52m³
**1m³削減
できました!**



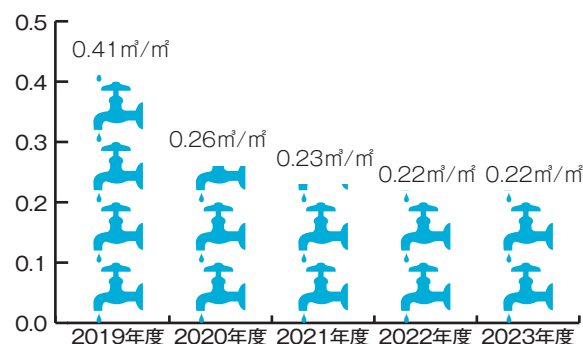
弊社には、節水タイプのトイレが3つあります。こちらは一般的なトイレの半分以下の水の量で済みますが、大・小の使い分けを心がけてもらうために1回あたりの水量（ℓ）を掲示しています。



数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 目 標 と 実 績	達成状況
2022年実績129m ³ ⇒ 2023年実績134m ³ 目標99% ⇒ 基準年度比104%	×
取 組 計 画	達成状況
・ 軍手・ウエスは纏めて洗濯（事務所）	△
・ 節水シールの貼り付けとポスター掲示（事務所）	◎



次年度からは

たくさん干せる角ハンガーを導入したので軍手、ウエスなどはなるべく纏めて洗濯し、水の使用量を削減していけたらと思います。また、廃棄物削減のための活動も継続し、無理なく活動に取り組めればと思います。

（営業部 前田）

たくさん干せるようになりました!



SDGs の見える化 🔍



営業部 本棚



倉庫横 手洗い場



喫煙所

SDGsに関連付けた名札を事務所のいたるところに掲示しています!



PRTR物質使用量の削減



材料の改良により大幅削減

材料の改良により、工事に使用する樹脂の多くがTXフリー（トルエン・キシレンを含まない）のものに切り替わってきています。今まで多くの防水硬化剤に使用されていたMOCA（3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン）についても、PRTR制度・第1種指定化学物質に該当しますが、弊社が使用する防水材「DP ワンガード・ゼロ」には含まれておりません。

材料を使用する際、希釈剤として、刷毛・ローラーの洗いなどで使用する場合がありますが、昨年は多くの溶剤を使用してしまいましたが、今期は前期より2,346kgも削減することができました。

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 目 標 と 実 績	達成状況
2022年実績3,448kg ⇒2023年実績1,102kg 目標99%⇒基準年度比32%	
取 組 計 画	達成状況
・ 有害性物質の表示の徹底・周知（事務所・現場）	○
・ 代替物質の検討（現場）	○
・ 作業ミスによる使用量増加の抑制（現場）	○
・ 容器の蓋の徹底（事務所）	◎



食品加工工場廃水タンク防食ライニング工事の様子

次年度からは

化学物質の使用は少なくなっていますが、防水工事に使用するトップコートや塗床工事に使用する一部の塗床材にはトルエン・キシレンが含まれているため、どうしても使用しなければいけない場合があります。そのため、各材料に含まれている化学物質に対して理解を深め、有害なものがある場合は全作業者に周知し、安全な作業環境を心掛けたいと思います。また、今後もマスクや手袋などの使用を徹底していきたいと思います。

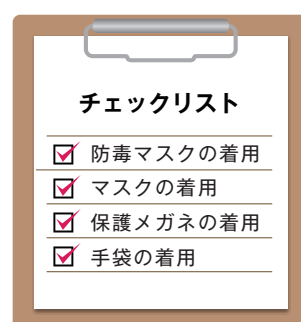
（工事部 田中）

リスクアセスメント実施中！

2016年6月に労働安全衛生法が改正され、化学物質のリスクアセスメントが義務化されました。弊社では倉庫に現在保管されている材料のSDSを入手し、さらには材料ラベルに表示されている危険有害性情報、救急措置、取扱い上の注意、保管方法などを新人教育の一環として、まとめてもらい、社内でも周知しました。これらのまとめた情報を利用して、今後作業手順を変更する際や、リスクアセスメントを実施して安全施工に努めていきます。

SDSとは？

SDSとは、「安全データシート」のSafety Data Sheetの頭文字をとったもので、事業者が化学物質及び化学物質を含んだ製品を他の事業者へ譲渡・提供する際に交付する化学物質の危険有害性情報を記載した文書のことです。SDSでは、化学製品中に含まれる化学物質の名称や物理化学的性質のほか、危険性、有害性、ばく露した際の応急措置、取扱方法、保管方法、廃棄方法などの有害性のおそれがある物質が記載されます。



環境に配慮した工事の推進

地球環境を考え、人に優しい防水工法・建物に優しい防水工法・地球に優しい防水工法の施工・開発に取り組んでいます。

DP ワンガード・ゼロの使用量

今期の DP ワンガード・ゼロの材料使用量を集計したところ、合計で 9,504kg (528 缶) でした。今期は屋上駐車場の防水工事現場が少なかったため、使用量が去年より減少してしまいました。弊社で使用しているウレタン防水材はほとんど環境対応型防水材「DP ワンガード・ゼロ」を採用しているため、来期は屋上駐車場の防水改修工事をたくさん受注し、使用量の向上に努めていければと思います。

目標数値：○達成 ×未達成

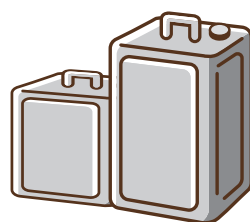
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 実 績	達成状況
環境対応型防水材「ワンガード・ゼロ」使用量 2022年実績 33,696kg ⇒ 2023年実績 9,504 kg	◎
取 組 計 画	達成状況
・ 環境への負荷を軽減した工事（現場）	○
・ 材料を入れる18L缶はリサイクル缶を使用（現場）	◎
・ 屋根の塗装、屋上防水トップは遮熱塗料を薦める（現場）	◎
・ 水性材料の採用（現場）	○

DP ワンガード・ゼロとは？

弊社が現在防水工事で一番多く扱っているウレタン防水材です。ウレタン防水材といいますが、以前は“主剤”と“硬化剤”が別々の缶に入れられたものを混合させて使用する2液型が一般的でしたが、新環境対応型1液型ウレタン塗膜防水材「ワンガード・ゼロ」（ディックブルーフィング株式会社）は1缶のみで材料攪拌の必要がありません。攪拌機の電力削減と労力の削減、さらには空き缶の排出量削減（リデュース）につながっております。

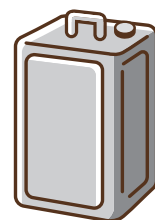
従来の2液型ウレタン



65 缶 + 65 缶
130 缶

50%
減量化

1液型ウレタン



主剤 (6kg) 硬化剤 (12kg)

DP ワンガード・ゼロ

※施工面積 300 m²に 3.0 mmの防水層を施工した場合の使用缶

材料がはがせるラミネート缶

1液型ウレタン防水材が入れている缶は、内部に特殊なコーティングがなされているラミネート缶です。写真のように缶内部で硬化したウレタン防水材は缶表面に強固に付着することなく、綺麗に剥がし取ることが可能となっております。これにより、これまででは潰してリサイクル処理していた缶も、現場でリユース（再利用）して洗い缶、練り缶などとして役立てています。



1度はがして
リユース

もう1度使えば
リサイクル

～ワンガード・ゼロ 環境配慮事項～

- ☑ TXフリー。有機溶剤「トルエン」「キシレン」等を使用していません。
- ☑ 「シックハウス症候群」を引き起こす原因とされる14の有害物質を使用していません。
- ☑ ホルムアルデヒド放散等級「F☆☆☆☆」を取得しています。
- ☑ 特定化学物質を含んでいません。
容器廃材の低減（リデュース）



駐車場・ビル屋上・マンションベランダ・屋根・戸建住宅など

防水箇所の用途・状態・仕様に合わせて、最適な施工方法をご提案いたします。

TX フリーで作業環境が改善

特定化学物質はもちろん、有害物質や臭気の発生しない新環境対応型ウレタン「DPワンガード・ゼロ」を使用しております。工事の際に作業者や近隣の方がめまい・頭痛等を引き起こすといった心配もなくなりました。居住環境、作業環境、地球環境と全ての環境にやさしい防水材でこれからも環境施工に努めます。



Before



After

琵琶湖文化館の屋上防水改修工事を行いました！
昭和 23 年に開館した歴史ある建物です。

施工前は建物の老朽化が進んでいて、雨漏れや
美観性などが気になっておりましたが、施工後は
見違えるほど綺麗になりました！



ベランダ

ウレタン塗膜防水 ローラー施工



大屋根

ウレタン塗膜防水 スプレー圧送

スプレー工法は材料の荷上
げが不要で勾配屋根の施工
には最適です！



リサイクル製品の骨材を使用した施工

弊社では、リサイクル製品の骨材（エコスター（電気炉酸化水冷スラグ）、クリスタルストーン・サンド）を使用した施工を行っております。

エコスター（電気炉酸化水冷スラグ）とは？

電気炉製鋼所から得られる副産物の酸化スラグを特殊処理加工したリサイクル素材です。スラグを 1,500℃前後の溶解状態から加工・破碎分級し、天然骨材にない種々の特徴を持つセラミック骨材（粗・細骨材）となっています。



エコスター
（電気炉酸化水冷スラグ）

拡大



色調は艶のある黒色で角ばっていて、粘土、有機不純物、塩分などは含まれておりません。また、耐酸、耐アルカリ性などの特性もあります。

クリスタルストーン・サンドとは？

エコマーク認定

廃棄物として処分せざるを得なかった廃ガラスやあきびんなどを破碎エッジレス加工したリサイクル素材です。ガラスびんを粉碎してからエッジレス加工を行っているため、素手で握っても痛くないので安心です。



粉碎するときにビンの色を
分けるため、きちんと
色目が出ます！！



クリスタルストーン・サンド
ミックスグリーン

地球環境に配慮した塗床工事ならお任せください!機能性と意匠性を兼ね備えた、最適な工法をご提案いたします。
一般床をはじめ、耐荷重を要求される倉庫、工場床や駐車場、耐熱水性を要求される厨房床や食品工場、耐薬品性を要求される研究室や化学工場まで、さまざまな用途や要求に対応します

廃棄物とコストの削減



かつてのスクラップ＆ビルドの考えではなく、既存建物をメンテナンスしながら永続的に使い続ける「建物の長寿命化」に貢献します。廃棄物とコストの削減に繋がり、サステナビリティに繋がります。

快適な職場環境へ改善

塗床改修で労働災害やヒヤリハットの事象は減らせます。水・油によるスリップ防止に優れた防滑仕上げや薬品に強い耐薬品床など、工場の用途に合わせ、職場の改善をお手伝いいたします。快適な床に生まれ変われば業務効率アップと従業員のモチベーション向上は間違い無しです！

床の環境改善

某コンピューターシステム会社社屋廊下 塗床工事

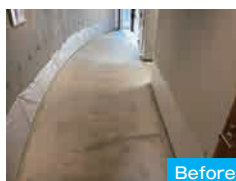


コンクリートと同じ色で補修して欲しいというご依頼で、ひび割れ部分を埋めてから施工を行いました！

- ✓ 耐候性、耐摩耗性、耐薬品性、耐油性に優れる
- ✓ 耐久性が良く、優れた防塵効果を発揮する
- ✓ 速乾性で特に冬期硬化性に優れ 1 日で仕上げ可能
- ✓ 鉛・クロムフリーなので安心



施工中



Before



After

産業用ベルト製造工場 塗床工事

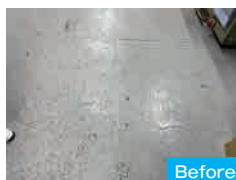


施工前は脆弱部や不陸部などがあったため、下地処理をしっかりと行ってから安全で環境に優しい塗床材で施工を行いました！

- ✓ 環境対応型塗床材でノンスリップ工法、モルタル工法、ライニング工法など各種工法に適用可能
- ✓ シームレスで光沢のある美しい仕上がりが可能
- ✓ 速乾性、耐候性、耐薬品性、耐汚染性に優れる



施工中



Before



After

\\HACCP 対応施工 / 厨房・食品工場の床の環境改善

食品を扱う工場や厨房において、製品の安全を確保する衛生管理の手法として HACCP が 2021 年 6 月に完全義務化となりました。これに伴い、弊社でも塗り床材も安全性・衛生性・耐久性の高い HACCP 対応のものを採用しております。

※HACCP とは食品の製造・加工工程のあらゆる段階で発生する恐れのある微生物汚染等の危害をあらかじめ分析（Hazard Analysis）し、その結果に基づいて、製造工程のどの段階でどのような対策を講じればより安全な製品を得ることができるかという重要管理点（Critical Control Point）を定め、これを連続的に監視することにより製品の安全を確保する衛生管理の手法です。

スーパーマーケット 青果作業室 塗床工事



Before

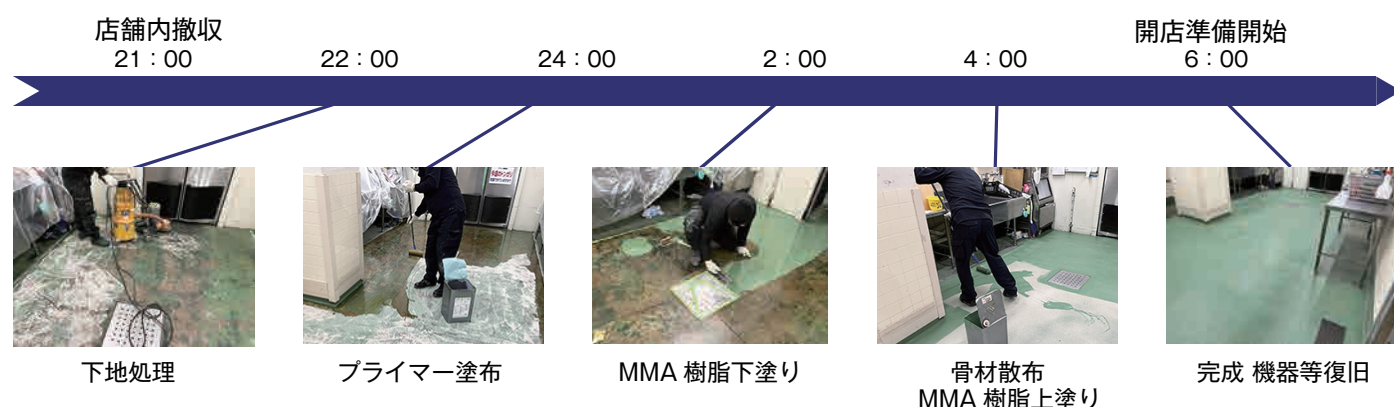


After

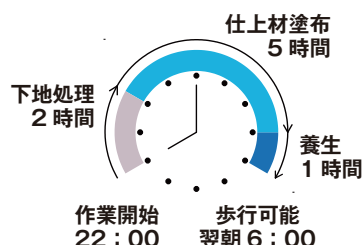
低臭 MMA 樹脂系
塗床は、速硬化タイプ
なので年中無休の店舗で
も施工可能です！



閉店後の夜間工事のタイムスケジュール



施工当日の流れ



作業開始から
8 時間 で歩行可能 !!

※上記時間は目安です。施工条件（面積等）により異なる場合があります

短時間で
施工可能！



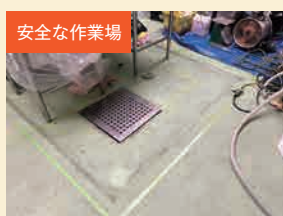
気になるこんな箇所も対応できます！



側溝のコンクリートの腐食



冷凍庫・冷蔵庫の床



段差解消工事



搬入口などスロープ作成

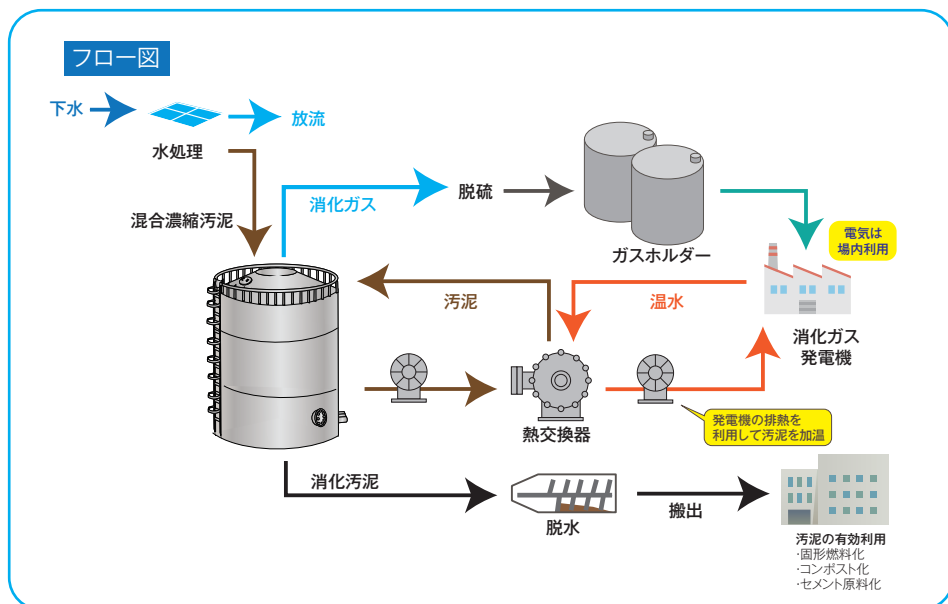


タイルの上から塗床可能

防食工事とはコンクリートや金属を腐食から守り、蝕みを防ぐ工事です。強い酸性の液体を使うメッキ工場のピット、化学工場のタンクや床、廃液槽、食品工場や下水処理施設の曝気槽など特殊合成樹脂仕様による耐酸・耐食工事の設計責任施工をいたしております。硫酸や硝酸、フッ化水素酸などの強酸に対応した重防食層の施工や、日本下水道事業団仕様の防食塗装も施工可能です。



下水処理場向け鋼板製消化槽のはたらきです。

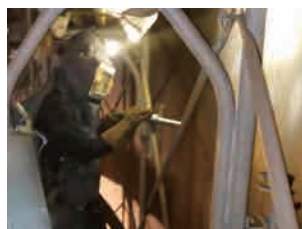


消化槽は下水処理時に出た汚泥の減量と安全性を高めることを目的とした設備です。分解が終わり安定した汚泥は消化工程前に比べ50～60%程度に減量されており、脱水・焼却しやすい性質に変質しています。また、汚泥は肥料や土壌改良材として利用が可能となります。消化槽は、汚泥処理の効率化と環境負荷の低減に重要な役割を果たしています。

実際の施工の様子

2022年に施工した大型鋼板製タンクの内面防食塗装工事の様子です。ブラスト時には頑丈な防護服を着用しなくてはならず、夏の工事だったためとても暑く過酷な工事となりました。

消化槽は使用時に大量のメタンガスが発生するため防食工事をしなくてはなりません。NKフレークで防食工事を行うことでタンクが腐食せず長期間使用できます。



鋼板面スチールグリッド
ブラスト処理



鋼板面プライマー塗布



フレークライニング防食塗装
(エアレススプレー吹付)



槽内検査
(膜厚検査ピンホール検査等)



完成

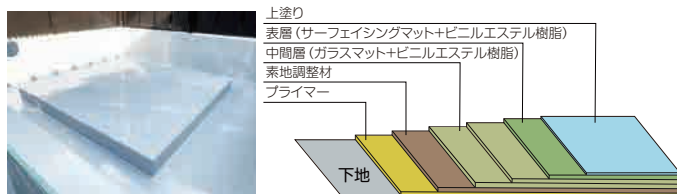
タンクは延べ面積1300㎡あり大きな工事だったため1ヵ月強の長期出張工事となりました。



西岡化建では、鋼板製大型タンク以外でも防食FRPライニングの施工をしています。

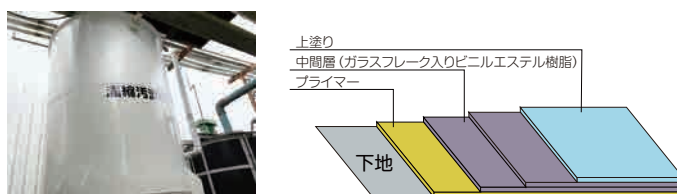
FRPライニング

鋼製タンクやコンクリート構造物にガラス繊維と樹脂で積層する。
※薬液の種類によっては、炭素繊維や有機繊維を使用することもあります。



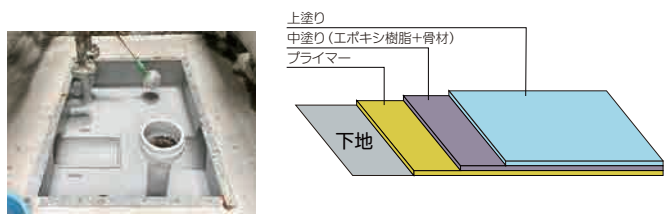
フレックライニング

鋼板原油タンク、搭槽類にガラスフレックを混合させた樹脂を施工する。
※大型タンクにはエアレスプレー機での施工も可能



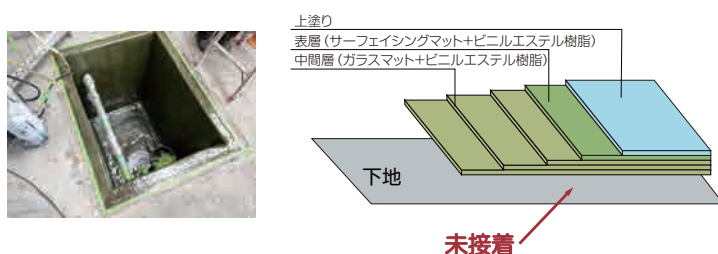
樹脂モルタルライニング

コンクリート構造物の床等に樹脂と骨材を混合して施工する。



ルースライニング

下地に離型処理を行い、ガラス繊維と樹脂で積層し、下地と接着させない工法。



下水事業団向け防食ライニングも多数施工しています！

株式会社神鋼環境ソリューションに安全表彰していただきました。



2023年に株式会社神鋼環境ソリューションより佐賀市下水浄化センター鋼板製消化槽防食塗装工事において安全表彰「優秀賞」をいただきました。

弊社はこれまで熊本市、佐賀市の2件の防食工事を完工しており、2026年までに神戸市、久留米市、福岡山形市、尼崎市、草津市、仙台市、伊丹市での計7件の工事を予定しております。どれも下水処理向けの鋼板製の消化槽のため環境保全活動においてとても重要なことに携わることができ大変嬉しく思っています。



他にもこんな賞をいただきました



他にも環境関連で賞をいただくことができました。エコアクション21オブザイヤー2022にて銅賞、なにわエコ会議ではプラスチックごみ削減努力賞、2022年度同友エコ大賞では同友エコ奨励賞をいただきました。



エコアクション21
オブザイヤー2022



なにわエコ会議



同友エコ2022-2023

エコアクション21オブザイヤーとは？

環境経営レポートおよび社会課題解決につなげる取組（地域への積極参加、働き方など）を顕彰することで、脱炭素社会の実現、SDGsの達成に向けた中小企業における多様な取組を国内に広く発信するとともに、こうした動きを加速化させることを目的としています。今回、環境経営レポート部門71社、ソーシャル部門24社の応募がありました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



グリーン購入

針なしステープラー導入 定番の事務用品はほぼグリーン商品



事務所で紙を綴じる際、ホッチキスを使用することがほとんどでしたが、それに並行して今年から針なしステープラー「ハリナックス」を採用しています。ハリナックスは針を使用しないで紙が綴じれるので省資源化に繋がります。さらに針の分別や廃棄の必要がないので作業効率がアップします。もちろんグリーン購入法適合品です。

事務所の消耗品であるコピー用紙やテープは継続してグリーン購入法に適合しているものを購入しています。今後も環境に配慮した製品を環境負荷の低減に取り組んでいる事業者から優先的に購入するよう心がけていきたいです。



両面テープ



コピー用紙



ファイル



インデックス



ステープラー



電池



よりよい職場環境を目指して

資格取得推奨制度で社員をサポート



弊社では、社員が資格取得にチャレンジしやすいよう、手厚くサポートしています。試験に関わるテキスト代、受験料、交通費等は全額会社が負担し、資格取得による業務への貢献度や難易度を考慮し、合格時には報奨金を支給しています。さらに毎月資格手当として給与にも付与しています。資格保有者の存在や資格取得を目指す向上心とモチベーションを持った社員は財産です。今後も向上心を持った社員を応援していきます。

9名合格おめでとう！！ 今期の資格取得、講習の受講状況

玉掛け 技能講習	1名
小型移動式クレーン運転	1名
職長・安全衛生責任者講習 特別教育	2名
二級防水施工技能士（ウレタンゴム系塗膜防水工事業）	1名
二級防水施工技能士（FRP防水工事業）	1名
石綿作業主任者技能講習	2名
建築物石綿含有建材調査者講習	1名

作業環境の改善

下地処理作業の効率化へ

改修工事の際、まず行うのが既存床の撤去作業です。弊社では新型搭乗式の床面剥がし機を導入しています。これまで剥がすのが困難だった既存床（アスファルト、ウレタン等）、塗床（ウレタン、エポキシ等）をスピーディに剥がすことが可能です。機械効率は小型電動機と比較しても10倍以上の差があり、作業時間の短縮、人件費等の経費削減に大きく役立っています。下地処理がきれいに出来れば工事全体の品質向上に繋がります。大規模な改修工事の現場には欠かせない存在です。

- ・ 騎乗式小型軽量コンパクト設計
- ・ バランスが良く安定した操作性
- ・ エレベーターや廊下でも搬入可能
- ・ ウェイトが脱着可能
- ・ プロパンエンジン式



従来よりもキレイで
スピーディーに！



搭乗式貼床材剥がし機『Bronco』

荷役作業の効率化へ

材料や工具の荷役は毎日欠かせない作業です。そのためトラックにパワーゲートを取り付け、作業員の負担を減らすよう改善しました。自動で昇降するので工事部の肉体的負担を軽減すると共に、作業効率が向上しました。また、今まで複数人で行っていた重量の積み降ろしを作業が1人でも行えるので人員が足りない場合も対応可能です。安全に作業するよう十分注意しながら今後も役立てていきます。



毎日の積み込み作業が効率UP

日々、作業改善を重ね
施工品質向上中です！



健康と環境保全

血圧計・体重計の導入と分煙の取組み



従業員の健康は企業の健康につながります。会社の健康診断は年に一度ありますが、それだけでは健康の維持は難しいので、事務所に血圧計と体重計を設置しています。社内でいつでも測定できることで、自分自身の健康状態に気付けることを目指しています。血圧は毎日決められた時間に測定することが大切なのでこれから習慣化させていき、社員全体の健康維持を向上させていきたいと思います。

また社員の健康維持のため、分煙環境の整備も整えています。非喫煙者がたばこの煙を吸い込む“受動喫煙”を防ぐために事務所横に喫煙室を設置しています。喫煙者も非喫煙者も快適な職場環境づくりを目指しこれからも取り組みます。



血圧計測を推進するポスター掲示中です



喫煙室



喫煙室
常に換気しています

AEDの設置場所把握



過去に仕事中に倒れた社員がいたことから、会社周辺の AED 設置場所の地図を作成し、社員に周知しています。皆の見えるところに地図を貼るにより、緊急事態でも対応できればと考えています。

また、今年度から応急手当 WEB 講習を順番に受けています。AED の使い方を事前に学んでおくことで誰もが救命処置できるように努めてまいります。



「応急手当WEB講習」
普通救命講習



近隣のAED設置場所を周知

熱中症対策も行っています！

毎年夏場(6月～9月)は厳しい猛暑となりますが、防水工事は屋上など炎天下での作業です。屋内での作業でもエアコンがついていない現場がほとんどなので、いつも熱中症の危険と隣り合わせです。

今年からマスクの着用が任意になったため、昨年よりは作業しやすくなりましたが、災害級の暑さが続いたため、危険な状態での作業となりました。そこで全従業員が熱中症にならないようにさまざまな対策を講じております。

現場での対策

- ✓ クーラーボックスで冷やした水を準備
- ✓ 塩分タブレット補給
- ✓ こまめな休憩と声かけ
- ✓ ネックガードの装着(ヘルメット取付用)
- ✓ メッシュ製ベストの着用

事務所での対策

- ✓ 朝礼で全員の体調を確認
- ✓ 室温をこまめに確認
- ✓ こまめな休憩と声かけ
- ✓ 塩分タブレット補給



塩分タブレット

こまめに
水分補給

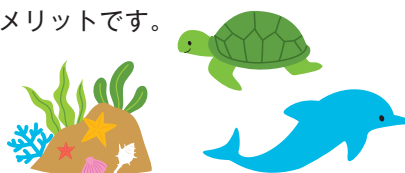


紙ストローへの切り替え



海洋プラスチックごみが海の生物に悪影響を及ぼすことを知り、お客様にお出しする飲み物は紙ストローに変更しています。紙ストローの最大のメリットは、処分の面で環境に優しいところです。紙製にすることで、プラスチックの使用量抑制に繋がります。

紙ストローを取り入れることで使用されるお客さま自身も「環境に配慮している」「SDGsに貢献している」という意識を持つことができるのも大きなメリットです。



環境上の緊急事態への準備及び対応

防災への取り組み



2023 年 緊急事態対応訓練実施

災害発生時に迅速に行動し、生命の保全を図れるよう、毎年防災訓練を行っています。今年火災の発生を想定して、避難訓練と消火訓練を行いました。

「はい、119 番消防です。
火事ですか？救急ですか？」

「火事です！」

「住所、場所はどこですか？」



炎感知器作動中！



喫煙室での発火を想定し訓練



消火中



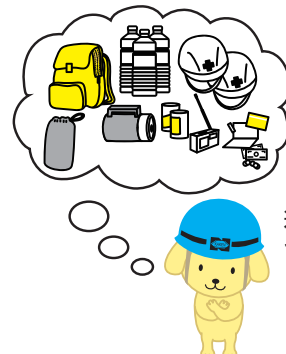
実際に通報する練習

喫煙所でタバコの吸い殻から発火した場合を想定して実施しました。消火には社内に設置してある消火器を使用。実際にライターの火を付けネットワークコントローラー（報知器）が機能していることを確認し、音を鳴らして避難誘導を行いました。点呼により全員避難が完了したかどうか確認し、避難が完了しました。最終避難場所では負傷者はいないか等について社長が確認を行いました。社員同士で消防に連絡するデモンストレーションも実施しました。

BCP 策定について

BCP とは・・・「Business continuity plan」の略で、日本語では「事業継続計画」と呼ばれるものです。地震などの災害発生時に会社を継続できるよう、あらかじめ計画を立て、災害による被害を最小限に抑えるとともに、事業をできる限り中断せずに済むことを目的として、方針や手順などを計画します。コロナ禍の際は、一部の社員がテレワークを実施しましたがBCPが役に立ちました。また、BCP について学ぶようになり、現在下記のことが改善されています。

BCP 課題	従来の形	改善できたこと
社内 PC	デスクトップ PC	持ち運び可能なノート PC へ総入れ替え
案件・タスク管理	社内の Excel でのみ	クラウド上で外出先から閲覧編集可能へ
顧客・物件管理	社内共有サーバーのみ	クラウド作成共有できる新システム導入
見積書作成	見積ソフト（クラウド型でない）で作成	クラウド作成共有できる新システム導入
請求書作成	Excel で作成後、社内サーバーに保管	クラウド作成共有できる新システム導入
社内連絡ツール	個人メールか LINE	LINEWORKS を導入
事務所社屋		耐震等級 3 の新社屋へ



迅速に対応
できるかな

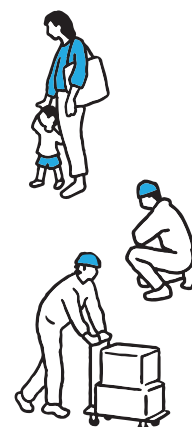
緊急時の連絡体制を整える

災害時には電話やメールといった普段使っている連絡ツールが利用できなくなるおそれがあるので、どのような手段で社内の連絡を取り合うのか決めておく必要があります。弊社では従業員連絡ツールとして LINEWORKS を導入しています。LINEWORKS は普段使用している LINE と同じような使い勝手で一斉連絡が可能です。安否確認アンケートを配信する機能もあるので、BCP 対策システムとして有効です。実際、災害時にスムーズに連絡が取れるよう毎年の防災訓練のタイミングで訓練配信を行い、全員の確認を取っています。

誰もが働きやすい職場環境作りへ

弊社では一昨年から初めて女性社員が産前産後休暇・育児休暇制度を 1 名取得しました。育児や介護など、ライフステージに合わせた働き方ができるよう、時短勤務制度を整備。今後も全従業員が仕事と家庭が両立できる職場環境をサポートしてまいります。そのためにも作業の標準化やルールをさらに明確化させ、1 人に負荷がかかりすぎないようにワークシェアリングを行い、仕事を分担する意識を定着させていこうと考えています。案件の進捗状況をクラウド上で共有しているのでこのような積み重ねを継続させ「担当がいないとわからない」という状況を減らせられればと思います。

工事部においては 2007 年から外国人技能実習生を継続して受け入れております。現在雇用しているのは中国人 4 名、ベトナム人 3 名です。言語の壁や日本の文化に慣れないこともあると思いますが、意欲的に現場で活躍してくれています。日本語の勉強会を実施したり、社員寮の整備や安全教育も弊社でサポートしています。



Orizuru Notebook Project は広島企業の有志が中心となって立ち上げた組織「PEACE MINDS HIROSHIMA」が取り組んでいるプロジェクトです。毎年広島平和記念公園に贈られる 1000 万羽を超える折り鶴を再生し、学習ノートとして世界各国の子どもたちに“無償配布”する活動です。平和を願う気持ちが込められた折り鶴が形を変え、子どもたちに活用されることで、平和を考えるきっかけとなり、平和の心を育んでもらえればという思いから立ち上げられました。

国境を越えて、世界の多くの子どもたちが折り鶴ノートを手にして、世界の人々が折り鶴に託した平和への思いや願いを共有し、継承してくれることを弊社も願っています。



日本赤十字社への寄付活動

創業時から毎年欠かさず日本赤十字社への寄付活動を行っております。2017 年には表彰状をいただきました。日本赤十字社は災害時の被災者救護やコロナウイルスなどの感染症拡大防止への対応、防災・減災の普及啓発やボランティアの育成など、いのちを救うさまざまな活動をされています。

弊社は今後も国際的な災害や紛争、病気や貧困などに苦しむ人々を救うため、世界最大のネットワークで、緊急時の救援や復興支援、予防活動に協力していきたいです。今後も少しずつご支援させていただきます。

弊社の事務所は、木＋鉄で建てるハイブリット工法です！

耐震等級 3 の新社屋

BCP 対策を兼ねた弊社の社屋は、国産木材と鉄を組み合わせた工法を採用しております。それにより構造計算上、耐震等級 3 を確保しています。耐震等級 3 は、震度 6 強～7 レベルの 1.5 倍の力に対して、倒壊・崩壊しないような強度があるため、非常の際は近隣の皆様の避難所になればと考えております。

(※耐震等級とは「住宅性能表示制度」のなかの一つの基準です。地震が起きたときの強さについて、等級 1～3 の数字で表され、数が大きくなるほど耐震強度が高いことを示しております。)



環境関連法規等の遵守状況確認および評価ならびに違反訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	摘要される事項（施設・物質・事業活動）
消防法	各種溶剤の保管
化学物質排出把握管理促進法	各種溶剤の使用（報告義務対象外）
騒音規制法	該当なし
振動規制法	該当なし
廃棄物処理法	一般廃棄物（事務所から出る紙くず、繊維くず、木くず、生ゴミ等） 産業廃棄物（工事に伴う金属類、廃プラ類、廃油、紙くず、木くず等）
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める。
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機
その他・顧客要求事項	・現場の営業中の施工配慮。一週間ごとの分割施工等。 ・材料の搬入搬出の時間制限 ・施工中に扱う化学物質の臭気対策。 ・工期厳守

確認および評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、これまでありませんでした。

生物多様性の保全活動

NISHIOKA FARM

社屋の近くには会長、専務が管理している畑があるため、生物多様性の取り組みとして、無農薬野菜を育てております。

西岡化建では、四季折々の野菜を栽培しているため、年中新鮮な野菜を収穫することができます。今年もスナップエンドウ、トマト、茄子、ゴーヤ、ブロッコリー、大根、かぶ、小松菜などたくさんの野菜を収穫することができました。有機肥料による無農薬栽培は身体に良いことはもちろん、自然の甘味も感じられるので社員の方々にはたいへん喜んでもらえています。



～ NISHIOKA FARM ～ 今年もたくさん採れました♪



スナップエンドウ



トマト



ナス



だいこん



かぶ



小松菜

～ Herbs ～



バジル



パセリ

野菜のほかに
バジル、パセリなどの
ハーブも育てています♪



緑化活動 花の育成と植樹祭への参加



大阪府中小企業家同友会 環境経営部会
第13回 緑化活動植樹祭 2023年3月25日(土)
場所:大阪中央環状線・八尾久宝寺周辺

大阪の市街地を貫く大阪中央環状線、通称「中環」で森づくりを実施しています。植樹祭に参加するのも今年で13年目になります。今年はモノレール延伸工事により桜の苗木を移植いたしました。今後も大きく成長してくれることを願っています！



植樹祭開会式の様子

今年も植樹祭に参加しました！



植えた木にプレートを取り付けました！



椎茸狩り体験



植樹祭終了後に椎茸狩りを行いました。
椎茸はとて大きく立派でたくさん収穫でき楽しかったです！

植樹した桜



こちらは3年前に植えた桜です。きれいな花を咲かせていてとても嬉しかったです！

～ NISHIOKA GARDEN ～

西岡化建では、ミモザ、ヒメウツギ、ボタン、モッコウバラ、麦わらラベンダーなどさまざまなお花を育てています。育てたお花などは生けて社内や店舗に飾っています。



ボタン



モッコウバラ



麦わらラベンダー



ミモザ

リユース リデュース、リサイクルの推進について

昨年度のレポートにも触れていますが、環境保全のために最初に取り掛かったリユース、リデュース、リサイクルの活動を発展させるべく社員にも呼び掛けてきました。この活動は一番社員全員のやる気と力を必要とするものです。環境事務局や経営者だけで成し遂げられるものではありません。弊社は人づてに聞きながら、法制をクリアした廃プラスチックの業者を選び、信頼して持ち帰りいただいています。その預かり物がどのように処分され人畜無害となっていくのかの勉強ができていない、それは社員全員がもう一回り努力すべしと思います。

なかなかそんな機会に恵まれないのは、ここ最近の疲弊した経済の中で、ゆとりとする遊休時間が無いこと。環境活動の目に見える成果がじれったいほど出てこない、などによると思います。数字で追いかける環境経営レポートも、一旦努力して数値が下がるとそれ以上は伸び悩みを感じ、マイナスがついたりすると1年の努力をただむなしく感じることになるでしょう。社内で開く勉強会で社員の関心具合を確かめる必要があります。活動の継続を促すための有意義な勉強会を社員自らで考えて欲しいと思っています。

他府県同友会で環境委員会開設支援と近畿弁護士会での環境問題の提言

1997年の京都議定書採択のニュースが流れたころから、環境問題に大いに興味を持って、仕事との兼ね合いを考えてきました。と申しますのは弊社の仕事が建設業で、原材料には石油製品を使用するということから、公害をまき散らす側になってはいけないという緊張が常にありました。日本における歴史的事実にも四日市喘息、カドニウム汚染、水俣病など産業発展を優先したため人々を長く苦しめた公害の歴史があります。そうした加害者には絶対になってはいけないという思いが、環境活動を自然に受け入れられた要素であろうと思います。

弊社が環境活動を進める中、さまざまな受賞をさせていただきました。その功で今年度は所属しております大阪府中小企業家同友会のみならず、愛知県同友会での環境委員会立ち上げのご支援や、近畿弁護士会様が夏季研修会において企業の環境活動を題材にして勉強会を開催され、弊社の日ごろの活動を報告する場を得ました。こうした啓発に参加させていただくことをこの上ない名誉と思い、これからも続けていきたいと思っています。

事業を通じて行う環境活動

今年度も事業を通じて行う環境活動に力を入れてきました。折板屋根など倉庫、工場の屋根の塗装改修には、お客様からのご用意に必ず遮熱塗装を提案いたします。通常の方法よりも仕入れ値が高く常用するのに厳しいものがありますが、遮熱塗装を施工した効果、低減する天井裏の熱気などを数値化して説明し、起用にご満足いただいています。材料のクールチョイスは製造現場や生活の環境に労働者及び生活者が過ごしやすい、人に優しいを実現するもので、確かな実績を重ねていきたいと思っています。

また昨年度より始まりました下水処理場の新たな開発発展として、メタンガス発酵装置でバイオマス発電をするという事業の新設工程にご協力させていただいています。昨年の熊本県、佐賀県に続き、今年度は福岡県、兵庫県での工事を予定しています。従来の下水処理場の上に巨大な鉄鋼製ドームをおき、汚水からメタンガスを発酵させて新生火力発電所の燃料とするばかりでなく、水分は海に流せるまでのレベルに浄化し、副産物の残りカスは優秀な有機肥料となる一石三鳥の取り組みです。メタンガスと共に発生する硫化水素による鉄部の蝕みを防ぐための、フレックライニング工法の塗装が弊社の仕事です。エネルギーシフトの理想的なあり方として、この取り組みが全国自治体に広がっていくのを期待しています。



環境管理責任者 専務取締役 西岡 洋子

代表者による全体の評価と見直し・指示

今年度については、工事受注件数は増加してきたものの、思うように大型案件の受注が取れず、経営としては非常に厳しいものとなりました。環境目標の項目のなかには売上が減少することで、数値が改善されたものもあり、経営成績と反比例で環境目標を達成することは少々複雑な心境であります。売上に連動しない指標や実績値の評価方法を検討していく必要があります。

今年度の取り組みで大きく躍進したところは、廃ガラスを利用したリサイクル骨材を駐車場防水工事の材料に取り入れ、大量に使用することが可能となりました。このような環境配慮型原材料の使用を次年度はもっと増やしていく予定です。また、当社の取引先でもある廃棄物処理やリサイクル事業を行う企業や材料メーカーとも協力して、次世代の新しいリサイクル材料を探していきたいと思います。最近問題になっている廃棄された太陽光パネルについても、何か新しい建築材料へと転換できないかと考えます。2020年に竣工した当社の新社屋にも82枚の太陽光パネルがありますが、20年後には廃棄処分する時期がやってきます。その時に何かの建材へと再利用できるしくみが出来ていれば幸いです。

次年度は直近の経営課題としての営業力強化によりインフラの長寿命化を促進するための環境経営方針と環境経営目標を設定し、企業価値向上を目指していきます。営業力強化により受注額が安定するまで前年度基準で評価を行います。

エコアクション活動を始めてから今年で12年がたち、社屋のZEB化、労働環境の改善、環境負荷の少ない材料選定、リサイクル・リデュースと日々環境活動に取り組んでまいりましたが、継続することの難しさや新しく環境活動に取り組むことの難しさを感じています。社員とともに、環境保全に対するモチベーションを高めながら、少しずつでも出来ることを続け、持続可能な環境経営活動に邁進してまいります。

代表取締役社長 西岡 若菜

環境経営方針	☐ 変更なし	☒ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

化学で変わる 建設の未来
Chemistry and Construction

 西岡化建株式会社
2023年度
環境経営レポート

最後までご覧いただき
ありがとうございました！

防水 まもるくん



塗床 麗子さん



カケンくん



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



防水工事 防食工事 塗床工事 塗装工事
左官工事 屋根工事 内装仕上工事

 **西岡化建株式会社**

〒567-0072

大阪府茨木市郡5丁目21番17号

TEL:072-643-1125 FAX:072-643-1127

E-mail:info@nishiokakaken.com

URL:http://www.nishiokakaken.com